

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公表番号】特表2003-511520(P2003-511520A)

【公表日】平成15年3月25日(2003.3.25)

【出願番号】特願2001-530381(P2001-530381)

【国際特許分類】

C 08 F	2/44	(2006.01)
C 08 F	2/24	(2006.01)
C 08 F	220/04	(2006.01)
C 08 F	222/02	(2006.01)
C 08 F	265/02	(2006.01)
C 08 F	267/02	(2006.01)
C 08 F	290/06	(2006.01)
C 08 K	5/17	(2006.01)
C 08 L	33/00	(2006.01)
C 08 L	35/00	(2006.01)
C 08 L	51/00	(2006.01)

【F I】

C 08 F	2/44	C
C 08 F	2/24	Z
C 08 F	220/04	
C 08 F	222/02	
C 08 F	265/02	
C 08 F	267/02	
C 08 F	290/06	
C 08 K	5/17	
C 08 L	33/00	
C 08 L	35/00	
C 08 L	51/00	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年8月26日(2011.8.26)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

50～99.5質量%の、少なくとも1種類のエチレン系不飽和モノおよび/またはジカルボン酸と、

0.5～5.0質量%の、ヒドロキシル基を少なくとも1つ有するアミンとエチレン系不飽和モノカルボン酸とのエステル、ならびにヒドロキシル基を少なくとも1つ有するアミンとエチレン系不飽和ジカルボン酸とのモノエステルおよびジエステルから選択される少なくとも1種類のエチレン系不飽和化合物と、

最大20質量%の少なくとも1種類のさらに別のモノマーと、

から合成される付加ポリマーA2の存在下でのフリーラジカル乳化重合によって得ることができる少なくとも1種類の付加ポリマーA1の分散ポリマー粒子を含み、

前記少なくとも1種のエチレン系不飽和化合物を得るために使用される、前記ヒドロキシル基を少なくとも1つ有するアミンは、何れも、式



(式中、

R^c が、 $C_6 \sim C_{22}$ アルキル、 $C_6 \sim C_{22}$ アルケニル、アリール - $C_6 \sim C_{22}$ アルキル、またはアリール - $C_6 \sim C_{22}$ アルケニルであり、前記アルケニル基は1、2、または3個の隣接しない二重結合を有することができ、

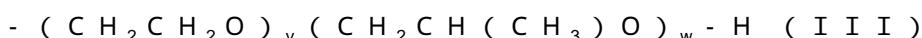
R^a が、ヒドロキシ - $C_1 \sim C_6$ アルキル、または式(I I)



の基であり、ここで

式I Iのアルキレンオキシド単位の順序は任意であり、 x と y は相互に独立して、0~100の整数であり、且つ x と y の和は>1であり、

R^b は、水素、 $C_1 \sim C_{22}$ アルキル、ヒドロキシ - $C_1 \sim C_6$ アルキル、 $C_6 \sim C_{22}$ アルケニル、アリール - $C_6 \sim C_{22}$ アルキル、アリール - $C_6 \sim C_{22}$ アルケニル、または $C_5 \sim C_8$ シクロアルキル(前記アルケニル基は1、2、または3個の隣接しない二重結合を有することができる)であるか、あるいは R^b は式I I I



の基であり、ここで

式I I I中のアルキレンオキシド単位の順序は任意であり、 v と w は相互に独立して、0~100の整数である)で表されるアミン、およびその混合物から選択される水性ポリマー分散液。

【請求項2】

前記ポリマーA 2が、エチレン系不飽和モノおよび/またはジカルボン酸として、 $C_3 \sim C_{10}$ モノカルボン酸および $C_4 \sim C_8$ ジカルボン酸から選択される少なくとも1種類の化合物を含む請求項1に記載の分散液。

【請求項3】

ポリマーA 1とポリマーA 2との固形分を基準にした質量比が、7:1~1:7の範囲内である請求項1又は2に記載の分散液。

【請求項4】

前記ポリマーA 2を基準にして最大50質量%の、請求項1に記載の式 $R^c N R^a R^b$ で表される少なくとも1種類のアミンをさらに含む請求項1~3のいずれかに記載の分散液。

【請求項5】

ヒドロキシル基を少なくとも2つ有する少なくとも1種類のアミンまたはアミド架橋剤をさらに含む請求項1~4のいずれかに記載の分散液。

【請求項6】

少なくとも1種類の反応促進剤をさらに含む請求項1~5のいずれかに記載の分散液。

【請求項7】

前記反応促進剤が、リン化合物から選択される請求項6に記載の分散液。

【請求項8】

前記A 1ポリマーが、ポリマーに使用されるモノマーの全質量に対して80~100質量%の、少なくとも1種類のエチレン系不飽和主モノマーと、ポリマーに使用されるモノマーの全質量に対して最大20質量%の、少なくとも1種類のエチレン系不飽和コモノマーと、から合成される請求項1~7のいずれかに記載の分散液。

【請求項9】

70~50質量%のポリマーA 1と、30~50質量%のポリマーA 2と、0~10質量%の界面活性アルコキシル化アルキルアミンと、0~20質量%のヒドロキシル含有架橋剤と、0~5質量%の反応促進剤と、を含む請求項1~8のいずれかに記載の分散液。

【請求項10】

少なくとも1種類のエチレン系不飽和モノマーのフリーラジカル乳化重合によってポリ

マーA1が合成され、且つ前記重合が少なくとも1種類のポリマーA2の存在下で実施される請求項1から9のいずれかに記載の水性ポリマー分散液の製造方法。

【請求項11】

請求項1から9のいずれかに記載の水性ポリマー分散液で基材を処理した後に硬化させることによって得ることができる接合基材。

【請求項12】

成形品の形態である請求項11に記載の基材。

【請求項13】

基材用のバインダーとしての請求項1から9のいずれかに記載の水性ポリマー分散液の使用。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

驚くべきことに、本発明者らは、50～99.5質量%の、少なくとも1種類のエチレン系不飽和モノおよび/またはジカルボン酸と、0.5～50質量%の、ヒドロキシル基を少なくとも1つ有するアミンと、エチレン系不飽和モノカルボン酸とのエステル、ならびにヒドロキシル基を少なくとも1つ有するアミンと、エチレン系不飽和ジカルボン酸とのモノエステルおよびジエステルから選択される少なくとも1種類のエチレン系不飽和化合物と、最大20質量%の少なくとも1種類のさらに別のモノマーと、から合成される付加ポリマーA2の存在下でのフリーラジカル乳化重合によって得ることができる少なくとも1種類の付加ポリマーA1の分散ポリマー粒子を含み、

上記少なくとも1種類のエチレン系不飽和化合物を得るために使用される、上記ヒドロキシル基を少なくとも1つ有するアミンは何れも、式



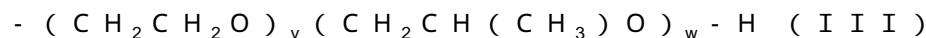
(式中、R^cが、C₆～C₂₂アルキル、C₆～C₂₂アルケニル、アリール-C₆～C₂₂アルキル、またはアリール-C₆～C₂₂アルケニルであり、前記アルケニル基は1、2、または3個の隣接しない二重結合を有することができ、

R^aが、ヒドロキシ-C₁～C₆アルキル、または式(I)



の基であり、ここで式Iのアルキレンオキシド単位の順序は任意であり、xとyは相互に独立して、0～100の整数であり、且つxとyの和は>1であり、

R^bは、水素、C₁～C₂₂アルキル、ヒドロキシ-C₁～C₆アルキル、C₆～C₂₂アルケニル、アリール-C₆～C₂₂アルキル、アリール-C₆～C₂₂アルケニル、またはC₅～C₈シクロアルキル(前記アルケニル基は1、2、または3個の隣接しない二重結合を有することができる)であるか、あるいはR^bは式III



の基であり、ここで式III中のアルキレンオキシド単位の順序は任意であり、vとwは相互に独立して、0～100の整数である)で表されるアミン、およびその混合物から選択される水性ポリマー分散液によってこれらの目的が実現されることを発見した。